

令和7年度 津志田つばさ園自己評価結果

令和8年2月

(保育士のための自己評価チェックリストから抜粋)

※ 職員31名提出(職務に無関係の項目は未記入とし、分母には入れておりません)

No.	項 目	はい	いいえ
1	保育の内容は、目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」とから構成されていることを理解していますか	100%	
2	保育所保育は「養護と教育」が一体となって展開されていることに留意していますか	100%	
3	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図る為の援助であることを理解していますか	100%	
4	「教育」とは子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか	100%	
5	「教育」とは、心情、意欲、態度など子どもが身につけるための援助であることを把握していますか	100%	
6	「養護」が基礎となって5領域における活動や体験が展開していくことを理解していますか	100%	
7	指導計画や記録にはいつも養護面での配慮が記載されていますか	93%	7%
8	一人一人の子どもの生理的欲求が十分満たされるよう配慮していますか	96%	4%
9	登園児の子どもの健康観察をしていますか	100%	
10	子どもが触れたりする物や場所など、衛生的な環境を保てるように常に気をつけていますか	100%	
11	子どもが自分の場を確保できるように配慮していますか	96%	4%
12	いつでも安心して休息できる場を確保できるように配慮していますか	96%	4%
13	子どもが何を求めているか、いつも思いをめぐらせていますか	96%	4%
14	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけていますか	100%	
15	子ども一人一人に分かりやすい温かな言葉で穏やかに話しかけていますか	100%	
16	子どもが不安になったときはいつでも支えられるよう、一人一人を視野に入れていますか	100%	
17	「早くしましょう」など、せかす言葉を不用意に使わないで、状況や一人一人に合わせた対応を心掛けていますか	73%	27%
18	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不用意に用いないようにしていますか	86%	14%
19	「待って」「あとで」など言わずに、なるべくその場で対応するようにしていますか	79%	21%
20	「できない」「やって」などと言ってくる時、その都度気持ちを受け止めて対応していますか	93%	7%
21	「いや」などと、駄々をこねる子どもの気持ちをくみとろうとしていますか	96%	4%
22	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまったたりすることがないようにしていますか	100%	

23	登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、やさしく声をかけたりしていますか	100%	
24	十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなどの配慮をしていますか	100%	
25	戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	100%	
26	友達と一緒に体を動かすことを楽しめるように働きかけていますか	100%	
27	保育士が率先して身体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるように配慮していますか	100%	
28	健康な生活リズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育していますか	100%	
29	戸外活動のあと、子どもが丁寧に手を洗っているか、その都度確認していますか	92%	8%
30	自分の身体を大切にすることが育つよう、視聴覚教材などを用いて話をする機会をもっていますか	89%	11%
31	食事の前や排泄後の手洗いを励行するなど、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	100%	
32	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方を身に付けるよう、働きかけていますか	100%	
33	食事やおやつの準備や片付けに参加したり、自分たちでできるように配慮していますか	100%	
34	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか	100%	
35	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えを日頃から話していますか	100%	
36	歯磨き指導など、病気の予防に必要な活動を適宜取り入れていますか	100%	
37	子どもが、保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを感じることができるよう配慮していますか	100%	
38	園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れていますか	100%	
39	友だちと一緒に喜んだり悲しんだりすることができる機会をつくっていますか	100%	
40	つまずきや葛藤、けんかなどを、子どもの育ち（発達）として欠かせないものとしてとらえ、対処していますか	100%	
41	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っていることにも気づけるように援助していますか	100%	
42	良いこと、悪いことに気づき、考えて行動することができるように配慮していますか	100%	

<考察>

○全体的に概ね良好な結果であると思われる。

○評価項目の 17, 19 は、昨年度の自己評価に比べて若干高くなったものの、8割に届いていない。肯定的な言葉に言い換えたり、一人ひとりの個性を尊重したりしようとする気持ちの醸成に関わる会議や研修等での啓発活動を行った効果が表れてきている。今後も継続していきたい。

○子どもたちの身体の健康や命に関する事柄は、病気の予防や防災、そして子どもたちを取り巻く様々な危険を察知して対応する意識は、これからも日常的に繰り返して職員間で共通理解をして取り組んでいきたい。